0908874HB8105

MITSUBISHI

三菱クリーンコンパック換気扇

20cm・25cm・30cm

据付・取扱説明書

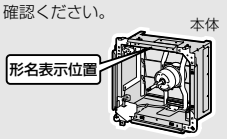
正しく安全に取付けて、お使いいただくためにこの説明書を必ずお読みください。なお「安全のために必ず守ること」は取付け上、および使用上大切なことですので必ず事前にご確認ください。

■新規取付時、壁穴工事はお買上げの販売店または専門の工事店さまが実施してください。
■配線工事は電気工事士の方が実施してください。

この製品は日本国内用ですので日本国外では使用できず、またアフターサービスもできません。

This appliance is designed for use in Japan only and can not be used in any other country. No servicing is available outside of Japan.

形名によって取付けが異なりますので、予めご使用の形名をご確認ください。



工事店さま

取付け終了後、正しい工事ができたかを確認してください。なお、この説明書は必ずお客さまにお渡しください。

お客さま

お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに同封の「三菱電機 修理窓口・ご相談窓口のご案内」とともに保管してください。

格子タイプ				
形　　名	用　途	シャッター方式	運転方式	電気工事
EX-20LK5-C EX-25LK5-C	居　間 事務所 店　舗	連動式	引きひも	AC 100V コンセント
EX-20LK5-M EX-25LK5-M				
EX-20LX5 EX-25LX5（白木調）				
EX-30FK5-C			引きひも速調付	
EX-20EK5-C EX-25EK5-C EX-30EK5-C		電気式	埋込スイッチ	
EX-20EK5-M EX-25EK5-M				
EX-20EX5 EX-25EX5（白木調）				

格子タイプ				
形　　名	用　途	シャッター方式	運転方式	電気工事
EX-20SK5-C EX-25SK5-C EX-30SK5-C	居　間 事務所 店　舗	風圧式	埋込スイッチ	AC 100V コンセント
EX-20RK5-C EX-25RK5-C EX-30RK5-C		連動式	引きひも 給排式	

インテリアパネルタイプ				
形　　名	用　途	シャッター方式	運転方式	電気工事
EX-20LX5-C EX-25FX5-C	居　間 事務所 店　舗	連動式	引きひも	AC 100V コンセント
			引きひも速調付	
EX-20EX5-C EX-25EX5-C		電気式	埋込スイッチ	

安全のために必ず守ること

お客さまへ

誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を次の表示で区分して説明しています。

⚠警告　誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの

禁止	●ガス漏れに気づいたら、換気扇のスイッチを入・切しない 爆発・引火の原因。	分解禁止	●分解・改造はしない 火災・感電・けがの原因。 分解・修理は修理技術者のいる販売店または当社のお客さま相談窓口にご相談ください。
禁止	●電源コードを傷つけたり、加工したり、たばねたりしない 火災や感電の原因。	指示に従う	●お手入れの際、電源プラグの刃および刃の取付面にほこりが付着している場合は、よく拭く 火災の原因。
禁止	●交流 100 V以外では使用しない 火災や感電の原因。	プラグを抜く	●お手入れの際は、電源プラグを抜くか、分電盤ブレーカーを切る 感電・けがの原因。
水ぬれ禁止	●製品を水につけたり、水をかけたりしない ショートや感電の原因。	ぬれ手禁止	●ぬれた手で電源プラグを抜差ししない 感電・けがの原因。

⚠注意　誤った取扱いをしたときに傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの

禁止	●本体に異常な振動が発生した場合は使用しない 本体や部品の落下によりけがの原因。	指示に従う	●お手入れの際は手袋を着用する けがの原因。
禁止	●引きひもを急に引っぱったり、斜めに引っぱらない 引きひもが取れて調理器具等の高温部や炎に手などが触れ、火傷・けがの原因。	指示に従う	●電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに先端の電源プラグを持って引き抜く 感電やショートして発火の原因。
接触禁止	●運転中は、羽根の中に指や物を入れない けがの原因。	プラグを抜く	●長時間ご使用にならないときには、電源プラグをコンセントから抜くか分電盤のブレーカーを切る 絶縁劣化による感電や漏電火災の原因。
指示に従う	●羽根や部品の取付けは確実に行う 部品が落下し、けがをする原因。		

工事店さまへ

誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を次の表示で区分して説明しています。

⚠警告　誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの

禁止	●改造しない 火災・感電の原因。	指示に従う	●メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造営物に取付ける場合、換気扇金属部とメタルラス、ワイヤラス、金属板とが電気的に接触しないように取付ける 漏電した場合発火の原因。
			●台所に取付ける場合は調理時に安全に操作できる位置（引きひもを確実にまっすぐ下に引ける位置）に取付ける 火傷・けがの原因。

⚠注意　誤った取扱いをしたときに傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの

禁止	●天井には取付けない 落下によりけがの原因。	指示に従う	●本体の取付工事は十分強度のあるところを選んで確実に行う 落下によりけがの原因。
禁止	●高温（室内温度 40℃以上）になる場所や直接炎のあたるおそれのある場所では使用しない 火災の原因。	指示に従う	●取付の際は必ず手袋を着用する けがの原因。
浴室取付禁止	●浴室など湿気の多い場所や結露する場所では使用しない 感電・故障の原因。	指示に従う	●配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って安全・確実に行う 接続不良や誤った配線工事は感電や火災の原因。

お願い

■取付環境

- 台所など油で汚れやすい場所には取付けないでください。
  プラスチック部品の変形・破損の原因になります
- 燃焼排ガスなどを吸い込むおそれのあるところには取付けないでください（RK5タイプのみ）。
- SK5タイプは外風の強いところに取付けないでください。
  シャッターの故障の原因になります
- 下記の場所には取付けないでください。製品の寿命が短くなります。
  - 温泉地　• 塩害地域　• 薬品工場　• 養鶏・養豚場のようなほこりや有害ガスの多い場所
  - ３階以上の高層住宅・高気密住宅（換気ができなくなります）
- 雨水の直接かかる場所では雨水が浸入することがありますので、専用ウェザーカバーをご使用ください。
- ダクト接続はできません。

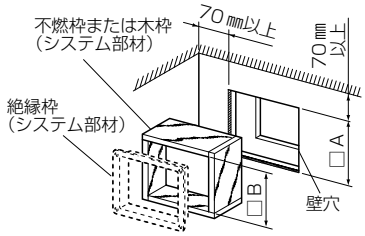
■換気扇の取付場所

- 天井・壁から 70 ㎜以上離れたところに取付けてください。
- 空気の流れが必要なため換気扇の反対側に出入口・窓などがあるところに取付けてください。
- カーテン・ひもなどが触れるおそれのない場所に取付けてください。
- 火災警報器がある場合は、感知部から 1.5m 以上離れたところに取付けてください（RK5タイプのみ）。

壁穴工事・電気工事

販売店・工事店さま用

壁穴・木枠の寸法



※木枠の室内側の面が壁面と同一面になるように施工してください。パネル落下の原因になります。

壁穴の寸法は木枠（不燃枠）の厚さに応じ異なりますが板厚 20 ㎜の場合下表の寸法となります。

単位（㎜）

機　種	A	B
20 ㎝タイプ	290	250
25 ㎝タイプ	340	300
30 ㎝タイプ	390	350

※木枠の内寸法Bは、うちわボルト取付の場合±5、木ネジ取付の場合 ±0 の範囲内で施工してください。

電気工事

工事＼タイプ	LK5・LX5・FX5・RK5	EK5・EX5・SK5
コンセント工事 右記の①、②のいずれかを実施してください。	①専用コンセントを設ける場合換気扇近くに設けてください。	
	②換気扇内部にコンセントを設ける場合 別売のシステム部材のコンセント取付金具（P-1X）を使用します。コンセント取付説明書を参照してください。	
埋込スイッチ工事	本体に引きひもスイッチが付いていますので不要です。	本体にスイッチがないため操作しやすい場所に埋込スイッチ（システム部材）を設けてください。

■埋込スイッチ・埋込コンセントの取付ボックスは、JIS C8340 に規定の市販品を利用してください。

木枠作りのポイント

板厚 20 ㎜以上で室外側下部に約 5°の傾斜をつける…雨水浸入防止。
木枠内のり寸法が小さい木枠に取付けると本体が変形したり、シャッターが動作しないことがあります。

壁穴位置

天井、壁から 70 ㎜以上離す。必ず床面より 1800 ㎜以上のメンテナンス可能な位置に取付ける。
※火災警報器がある場合は、感知部から 1.5m 以上離す（RK5 タイプのみ）。
※燃焼排ガスなどを吸い込むおそれのあるところには取付けない（RK5 タイプのみ）。

取付方法

1 パネル・スピンナー・羽根をはずす

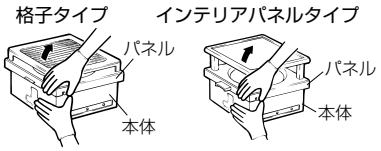
- 図のように本体を押えてパネルのコーナー部分を持ち上げてパネルをはずしてからスピンナー・羽根をはずす。

⚠注意

- 取付けの際は手袋を着用するけがのおそれがあります。

お願い

シャッターを開いたまま床などに置かないでください。



2 本体を取付ける

- 「うちわボルト」2 本で確実に固定する。または市販の木ネジで上・下 4 か所固定する。
- 2.5m 以上の高さに取付ける場合は安全のため必ず市販の木ネジで上・下 4 か所固定する。

お願い

- うちわボルトを使用しない場合は、うちわボルトをはずしてください。
- 市販の木ネジは、めっき等を施した耐食性のある鉄製のネジを使用してください。

3 コンセントの位置に合わせ電源コード引出口を決める

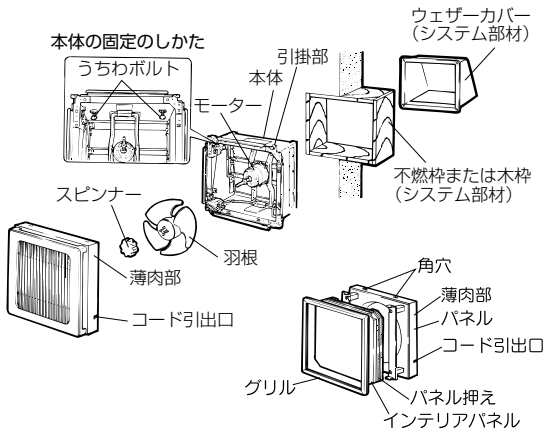
①上部に引出す場合は薄肉部をカッターナイフなどで切り取り、エッジを保護する。
②電源コードのたるみが、羽根・パネルに当たらないよう、コード掛けをおこして巻き付ける。

4 羽根・スピンナー・パネルを取付ける

①羽根は切欠部（◡）を合わせてモーター軸に挿入する。
②スピンナーは「シマル」の方向にまわし、羽根に当たるまで締め付ける。
③パネルは角穴を本体の引掛部にはめ込み「パチン」と音がするまで下側を押さえる。

お願い

スピンナーは確実に締め付け、羽根のガタがないことを確認してください。



電源コードの引き回しかた

※電源コードのかみ込みや傷付きが生じないようにしてください。

埋込コンセントの取付けかた

埋込コンセントを取付ける場合は、別売のシステム部材のコンセント取付金具（P-1X）の取付説明書を参照してください。

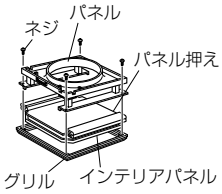
※ EK5・EX5・SK5 タイプはシステム部材の埋込スイッチが必要です。
シャッター方式が風圧式、電気式には引きひもはありません。

インテリアパネルについて（EX-20LX5-C・25FX5-C・20EX5-C・25EX5-C）

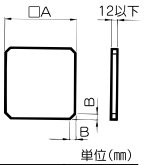
■クロス貼りのしかた

①インテリアパネルを分解します。

- 下図のようにグリルの 4 すみにあるネジをはずすとパネル押え・インテリアパネル・グリルが分解されます。

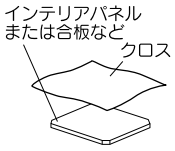


② 20 ㎝タイプは□ 35 ㎝位、25 ㎝タイプは□ 40 ㎝位に切りとったクロスの裏側にのりを塗り、インテリアパネルまたはその替わりに下表の寸法に切った合板などに貼ってハケでしわを伸ばします。



単位（㎜）

タイプ	A	B
20㎝タイプ	300	12
25㎝タイプ	340	15



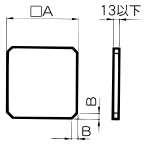
※インテリアパネルにクロス貼りする場合は水溶性ののりを使用してください。

③余ったクロスを切断し、取りはずしと逆の順序でネジ（4 本）にて締め付けます。

■インテリアパネルと壁材を交換する場合

①壁材を下図のように切断します。

- 壁材の質量は下表のとおりです。われやすいものなどは避けてください。

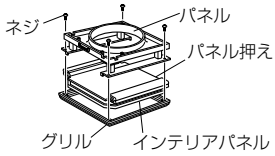


単位（㎜）

タイプ	A	B	質　量
20㎝タイプ	300	12	0.8㎏以下
25㎝タイプ	340	15	1.0㎏以下

②インテリアパネルと壁材を交換します

- 下図のようにグリルの 4 すみにあるネジをはずすとパネル押え・インテリアパネル・グリルが分解されます。
- 用意した壁材とインテリアパネルを入換えて取りはずしと逆の順序でネジ（4 本）にて締め付けます。



取付後の確認

- **取付工事終了後、チェック表に従って点検します。**
- **不具合があった場合は必ず直してください。**（機能が発揮されないばかりか、安全が確保できません）

試運転前			試運転時		
チェック項目	不具合の場合の対応	チェック	チェック項目	不具合の場合の対応	チェック
電源は 100V ですか？	100V に直します。 （異電圧を印加すると製品が破損します）		（引きひもスイッチタイプの場合） 引きひもを引いて動作を確認しましたか？	引きひものからみなどを直します。	
本体の取付け強度は十分ですか？	うちわボルトまたは木ネジで確実に固定します。		（壁スイッチタイプの場合） スイッチと本体の動作は合っていますか？	結線図に従って結線を直します。	
パネルが確実に取付けられていますか？	パネルを取付け直します。		羽根当たり音がしていませんか？	パネルをはずして配線の処理、部品の取付けを直します。	
スピンナーが確実に取付けられていますか？	スピンナーを締め付け直します。		シャッターが正常に作動していますか？	シャッターの変形、部品の取付け、木枠の内寸法を確認します。	

使用方法

■LK5・LX5タイプ
引きひもを引くごとに「入」⟷「切」します。

■EK5・EX5・SK5タイプ
壁スイッチで「入」⟷「切」します。

■FK5・FX5タイプ
引きひもを引くごとに「強」→「弱」→「切」に切換わります。

■RK5タイプ
引きひもを引くごとに「排」→「給」→「切」に切換わります。

お願い

■換気扇設置場所で中性以外の洗剤や消毒剤などを頻繁に使用すると寿命が短くなる場合があります。

■お手入れに下記の溶剤・洗剤を使用しないでください。（中性洗剤をご使用ください）
シンナー、アルコール、ベンジン、ガソリン、灯油、スプレー、酸性洗剤、アルカリ性洗剤、化学ぞうきんの薬剤、クレンザーなどの研磨材入りの洗剤、殺菌剤、消毒剤など
（異常音の発生、変質、変色、塗装はがれの原因）

■引きひもはゆっくりとまっすぐ下に引いてください。斜めに引いたり急に力を加えますと、引きひもが取れたりスイッチが故障する原因になります。引きひもが取れた場合は、お買上げの販売店または工事店にお申しつけください。（引きひもスイッチタイプ）

■調理時には、高温になった鍋やフライパン、炎などに手や衣服が触れる場合があり危険ですので、引きひもの操作をしないでください。

お手入れのしかた

換気扇が汚れてきましたら約３か月に１度を目安として、次の順序で清掃してください。

⚠警告

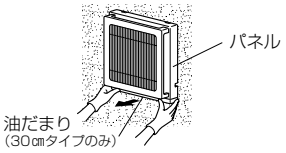
●お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜くか分電盤のブレーカーを切る。また、ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。感電やけがの原因。

⚠注意

●お手入れの際は手袋を着用する。
けがの原因。

各部品のはずしかた

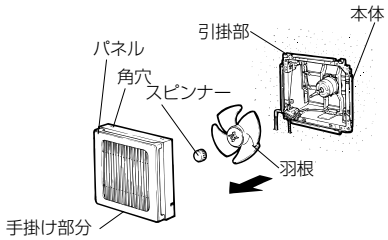
1 油だまり
●図のように油だまりの両横を持って、かたむけないよう注意してはずす。



2 パネル
●手掛け部分を手前に引いてはずし、上部角穴を本体の引掛部からはずす。

3 スピンナー・羽根
●羽根を軽く持ってスピンナーを「ユルム」の方向に回す。
●羽根を手前に引く。

4 本体

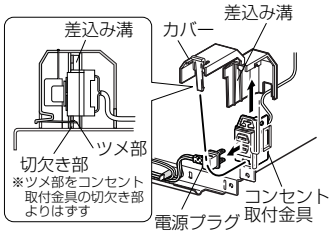


お願い

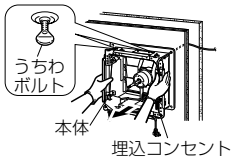
●**本体が木ネジで壁に固定されている場合は本体を壁からはずさないでください。**壁側のネジ穴が破損し、製品落下の原因。

〈内部コンセントがある場合〉

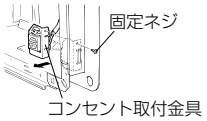
①換気扇のプラグを抜く
カバー下部のツメをおこしながら、カバーを開ける。
コンセントからプラグを抜く。
コンセント取付金具からカバーを取りはずす。



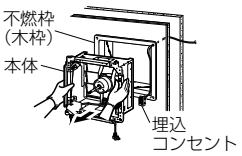
②本体を手前に５㎝引き出す
電源プラグを埋込コンセントから抜いて「うちわボルト」をゆるめて、本体を手前に５㎝程引き出す。



③コンセント取付金具をはずす
本体側面のコンセント取付板の固定ネジをはずす。
屋内配線コードを埋込コンセントに付けたまま、コンセント取付金具を手前に引いて本体からはずす。

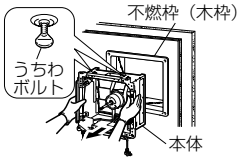


④本体をはずす
不燃枠（木枠）から本体をはずす。



〈本体の近くにコンセントがある場合〉

●本体上部にある「うちわボルト」をゆるめて本体を不燃枠（木枠）からはずす。



清掃のしかた

中性洗剤 を使用して汚れを取る。

●パネル、油だまり、羽根、スピンナーは中性洗剤を溶かしたぬるま湯に浸して汚れを落としてからきれいな水で洗いよく乾燥させる。

●本体は中性洗剤を浸した布で汚れをふき取り洗剤が残らないように乾いた布でよくふき取る。

お願い

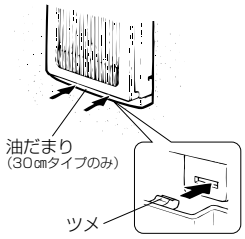
●**洗剤などをご使用の場合は中性洗剤をご使用ください。**
●**お手入れの際はモーターおよび充電部を濡らさないでください。**
●**シャッターを開いたまま床などに置かないでください。**

お手入れ後の組立てと確認

お手入れが終わりましたら、取りはずしと逆の順序で組立てる。

■部品の落下や故障を防ぐため次の点検をしながら組立てる。

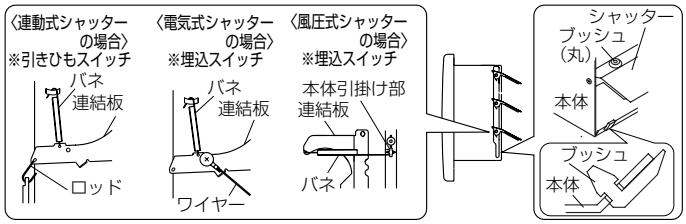
①〈内部コンセントがある場合〉
埋込コンセントがコンセント取付金具に確実に取付けられているか？
②電源コードに傷はないか？
③シャッターの開閉がスムーズにできるか？
④本体、羽根、スピンナー、パネル、油だまりが確実に取付けられているか？



お願い

●**パネルを軽く引っ張ってはずれないことを確認してください。**
●**スピンナーは確実に締め付け、羽根のガタがないことを確認してください。**
●**引きひもにほつれ・緩みなどの異常がないか確認してください。**
●**電源プラグの刃および刃の取付面にほこりが付着している場合は、乾いた布でよく拭いてください。**

⑤電源を入れ換気扇の運転に異常がないか確認する。



故障かな？と思ったら

次のような症状があれば点検してください。点検をしても直らない場合、また下記以外の現象が生じた場合は、必ず分電盤ブレーカーを切って（電源プラグを抜いて）からお買上げの販売店または、工事店にお申しつけください。

こんなとき	原　　因	点検してください
運転しない	本体に通電されていますか？	●分電盤ブレーカーを点検します ●停電ではありませんか？
運転中に異常な音がする	パネル、羽根が確実に取付けられていますか？	取付け直します
シャッターが正常に動作しない	本体、シャッターが変形していませんか？	販売店または工事店へ確認します
	開閉機構の部品がはずれていませんか？	取付け直します

アフターサービス

三菱換気扇のアフターサービスは、お買上げの販売店かお近くの「三菱電機 修理窓口・ご相談窓口」にご相談ください。

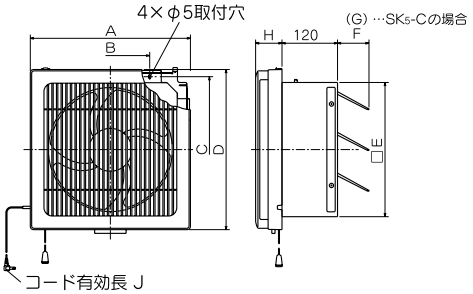
■補修用性能部品の保有期間

当社は、この換気扇の補修用**性能部品**を製造打切り後６年保有しています。補修用**性能部品**とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。

仕　様

外形寸法図

■格子タイプ
〈LK5-C・LK5-M・FK5-C・EK5-C・EK5-M・SK5-C・RK5-C〉

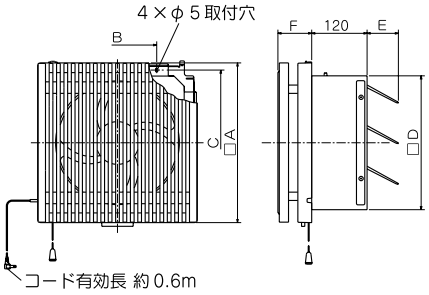


※図はEX-25LK5-Cを示す。
風圧式・電気式には引きひもはありません。

■変化寸法表　単位(mm)

タイプ	A	B	C	D	E	F	G	H	J
20㎝	296	120	265	296	240	50	40	52	約0.6m
25㎝	346	170	315	346	290	68	50	57	約0.6m
30㎝	396	220	365	420	340	80	59	77	約1m

■白木調格子タイプ
〈LX5・EX5〉

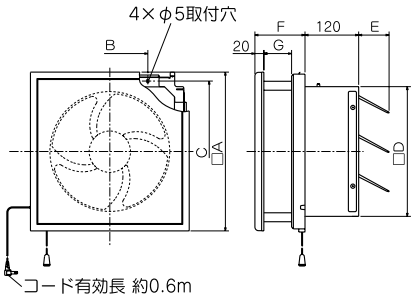


※図はEX-25LX5を示す。
電気式には引きひもはありません。

■変化寸法表　単位(mm)

タイプ	A	B	C	D	E	F
20㎝	296	120	265	240	50	68
25㎝	346	170	315	290	68	73

■インテリアパネルタイプ
〈LX5-C・FX5-C・EX5-C〉



※図はEX-25FX5-Cを示す。
電気式には引きひもはありません。

■変化寸法表　単位(mm)

タイプ	A	B	C	D	E	F	G
20㎝	315	120	265	240	50	108	58
25㎝	355	170	315	290	68	112	62

仕様表

電圧100V

形　名	給排	消費電力(W)		風量(m³/h)		騒音(dB)		質量(kg)
		50Hz	60Hz	50Hz	60Hz	50Hz	60Hz	
EX-20LK5-C、M	排	15	17.5	450	480	32	33.5	2.5
EX-25LK5-C、M	排	16	18.5	660	690	32	33.5	2.9
EX-20LX5	排	10	10.5	330	360	28	29.5	2.6
EX-25LX5	排	13	15	534	564	29	30.5	3.1
EX-30FK5-C	強排	26	29	1050	1002	36	35	3.7
	弱排	22	33	750	720	27.5	26.5	
EX-20EK5-C、M	排	16	18.5	450	480	32	33.5	2.7
EX-25EK5-C、M	排	17	19.5	660	690	32	33.5	3.1
EX-30EK5-C	排	27	30.5	1050	1002	36	35	3.9
EX-20EX5	排	11	11.5	330	360	28	29.5	2.8
EX-25EX5	排	14	16	534	564	29	30.5	3.3
EX-20SK5-C	排	15.5	18	432	468	32.5	35	2.4
EX-25SK5-C	排	18	21	642	660	33	34	2.8
EX-30SK5-C	排	33.5	37	1050	1002	38	37	3.6
EX-20RK5-C	排	15	17.5	450	480	32	33.5	2.5
	給	12.5	13	330	300	37.5	34	
EX-25RK5-C	排	16.5	19.5	660	690	32	33.5	2.9
	給	13	14	432	390	34	31	
EX-30RK5-C	排	26	29	1050	1002	36	35	3.7
	給	17	18	600	570	35.5	34	
EX-20LX5-C	排	13.5	15.5	402	444	34.5	37	2.9
EX-25FX5-C	強排	16.5	19	612	630	34.5	36	3.4
	弱排	11	11.5	360	360	21.5	22.5	
EX-20EX5-C	排	14.5	16.5	402	444	34.5	37	3.1
EX-25EX5-C	排	17.5	20	612	630	34.5	36	3.6

※測定方法はJIS C 9603による。

長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

【製造年】本体に西暦4ケタで表示してあります
【設計上の標準使用期間】15年
設計上の標準使用期間を超えて使用されますと、経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがあります。

■標準使用条件　日本電機工業会自主基準　HD－116－4による

環境条件	電　　圧	単相100V	定格電圧による
	周 波 数	50Hzおよび60Hz	
	温　　度	20℃	JIS C 9603から引用
	湿　　度	65%	
	設置条件	標準設置	据付説明書による
負荷条件		定格負荷	取扱説明書による
想定時間	1年間の使用時間	換気時間[a] 台所　2410時間/年 居室　2193時間/年 トイレ　2614時間/年 浴室　1671時間/年	
注[a] 24時間換気のものは、8760時間/年とする。			

〔本体への表示内容〕
※経年劣化により危害の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために電気用品安全法で義務付けられた上の内容を本体に表示しています。

〔設計上の標準使用期間とは〕
※運転時間や温湿度など、標準的な使用条件（右表による）に基づく経年劣化に対して、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。
※本製品の設計上の標準使用期間は、
製造年を始期とし、日本電機工業会自主基準HD-116-4に基づいて右記の想定時間を用いて算出したもので、無償保証期間とは異なります。また、偶発的な故障を保証するものでもありません。
●本製品は取扱説明書記載の設置場所の想定時間を用いて設計上の標準使用期間を算出しています。
●「経年劣化」とは長期間にわたる使用や放置に伴い生ずる劣化をいいます。

愛情点検

☆長年ご使用の換気扇の点検を！

ご使用の際このようなことはありませんか。
- スイッチを入れても羽根が回転しない。
- 運転中に異常音や振動がする。
- 回転が遅いまたは不規則。（モーターはメンテナンスが必要な部品です）
- こげ臭いにおいがする。
- 本体取付部に腐食・破損等がある。

使用中止　故障や事故防止のため、電源を切って必ず販売店にご連絡ください。点検・修理に要する費用は販売店にご相談ください。

お客さまメモ サービスを依頼されるとき便利です。	形　　名	
	お買上げ年月日	年　　月　　日
	お買上げ店名 （住　所） （電話番号）	（　　）＿＿＿＿＿＿

この製品には地球環境保護の一環として再資源化ができるように主なプラスチック部品に材質名を表示しています。「材質名は主材料にISO規定の略号を使用」

三菱電機株式会社

■平日　9:00～12:00　13:00～19:00（土・日・祝）　換気送風機技術相談センター　電話　0120－726－471（〒508－8666　岐阜県中津川市駒場1番3号）
■その他の時間　お客様相談センター　電話　0120－139－365（〒154－0001　東京都世田谷区池尻3－10－3）

この説明書は、再生紙を使用しています。